

小学部 遊びの指導 「伝承遊びで あそびましょ」



子どもの実態

小学部1年生から4年生の集団。教師あるいは友だちと一緒に遊びの楽しさを共有することが課題。

教師の願い

昔ながらの遊びを楽しんでほしい。
わらべ歌の心地よい響きを感じてほしい。



①導入 その1

◆「ずいずいずっころぼし」

ちょっと懐かしい曲を取り入れてみました。



ネズミの人形を持った教師が子どもたち一人一人にかかわります。歌が終わったときに教師の前にいる人がくすぐりの対象になります。

くすぐりを楽しみにしている子どもが多かったので、ネズミ役の教師を2人に増やしました。子どもたちはドキドキつつ、期待もしつつ楽しんでいました。



◆「だるまさんにらめっこ」



子どもたちにはなじみがある遊びです。オリジナルの「おもしろ顔」をつくって、友だちや教師を笑わせていました。

②活動 その2

「なべなべそこぬけ」



子どもたちにはなじみがある遊びです。教師あるいは友だちとペアを組む人、それぞれ自然とペアをつくり取り組みました。

その後3人、5人と徐々に増やし最後は、全員で一つの輪を作り取り組みました。始める前にくぐりぬける場所を確認して、歌に合わせて回ります。全員手を放すことなく、背中向けに変わることができました。子ども同士で手をつないでいても、放さず回っていました。



くるっと
まわって

完成です！



③活動 その3

「はないちもんめ」



最初に教師が見本用で撮っておいた動画を見ます。その後チームに分かれて遊びました。歌に合わせて教師の動きを見て、足を上げている人がいました。

指名する人をチームごとに相談します。そのために参加している子どもと教師の写真を準備しました。写真を手に取りながら話し合っていました。



指名された人同士がジャンケンをします。ルールが難しい人もいますが、掛け声に合わせてゲー、チョキ、パーを出していました。ジャンケンではなく、ロープを引っ張り合うなどのアイデアもありかもしれません。